

騒音・低周波音調査結果の概要

1 調査内容

(1) 調査日時等

【今回の調査】

区 分	実施日時等	測定箇所	調査項目
マフラー設置後 防音パネル（嵩上げ※後） ※平成27年7月から8月にかけて 既設防音パネルの高さ約3mを 約4～5mの高さに嵩上げ	平成27年11月5日（木） 午後3時～午後6時 風向・風速：北寄り或いは南西・0.2～1.7m 気温：19℃前後 ※出典：間人 2015年11月5日（1時間ごとの値） （気象庁ホームページより）	・周辺地域（1カ所）【屋内】 ※家屋（木造、アルミ窓枠）	・騒音レベル ・周波数特性
	平成27年11月5日（木）午後10時～ 11月6日（金）午前 1時 風向・風速：南南東・1m程度 気温：17～18℃、湿度：96%前後	・周辺地域（3カ所）【屋外】	・騒音レベル ・周波数特性

【前回までの調査】

区 分	実施日時等	測定箇所	調査項目
マフラー設置前 防音パネル（嵩上げ前）	平成27年2月7日（土） 午前0時～午前4時 風向・風速：南寄り・3m程度 気温：6℃前後、湿度：50%前後	・周辺地域（3カ所）【屋外】	・騒音レベル ・周波数特性
マフラー設置後 防音パネル（嵩上げ前）	平成27年2月25日（水） 午前0時～午前4時 風向・風速：北西或いは西寄り・2m程度 気温：6～8℃、湿度：95%前後	・周辺地域（3カ所）【屋外】	・騒音レベル ・周波数特性

1 調査内容

(2) 測定方法

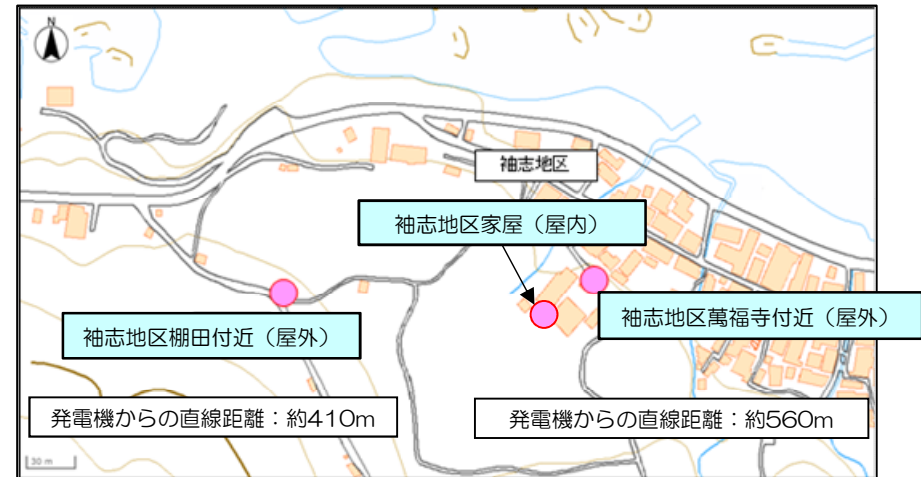
各測定箇所において、発電機の定常稼働状態における稼働騒音を測定。

使用機器：リオン社製 広帯域音圧計 XN-2P



広帯域音圧計
XN-2P

(3) 測定箇所位置図



2 調査結果

(1) 騒音レベルの測定結果

今回、防音パネルの強化（嵩上げ）後の騒音状況を確認するために騒音調査を実施しました。測定値は波の音などの暗騒音の影響を受けるものですが、調査の結果は、周辺地域の3カ所すべての地点（屋外）において、防音パネルの嵩上げ前に実施した平成27年2月25日の結果よりも約2～9 dB低い測定値となっています。

なお、調査対象とした地域は、環境基準を適用する地域の指定を受けていませんが、参考として測定結果を環境基準と対比したところ、周辺地域の3カ所の騒音レベルは、環境基準（主として住宅の用に供される夜間の基準値45 dB）を下回っています。

（単位：デシベル）

測定点	前回までの調査		今回の調査
	防音パネル（嵩上げ前）		防音パネル（嵩上げ後）
	マフラー設置前	マフラー設置後	
	平成27年2月7日	平成27年2月25日	平成27年11月5日～6日
袖志地区棚田付近	46	45	43
袖志地区萬福寺付近	54	53	44
尾和地区尾和会館付近	40	39	37

（参考）環境基準： 環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件について生活環境を保全し、人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準。

○ 環境基準（抜粋）

地域の類型	基準値	
	昼間 午前6時から午後10時まで	夜間 午後10時から午前6時まで
主として住居の用に供される地域	55 dB以下	45 dB以下

2 調査結果

(2) 低周波音の測定結果

今回、袖志地区の家屋において、屋内における測定を行い、騒音苦情の主な要因と考えられた90Hz前後の低周波音の状況について調査しました。調査の結果、同家屋の屋内の音圧レベルは、環境省が定める「心身に係る苦情に関する参照値」を下回っていることを確認しました。

(単位：デシベル)

測定点	1/3オクターブバンド 中心周波数	防音パネル（嵩上げ後）	心身に係る苦情 に関する参照値
		マフラー設置後	
		平成27年11月5日	
袖志地区家屋 (屋内)	80Hz	23	41
	100Hz	24	—

注1： 心身に係る苦情に関する参照値とは、環境省が定めた低周波音問題対応のための「評価指針」に示される参照値である。

参照値は、低周波音について苦情の申し立てが発生した際に、低周波音による苦情かどうかを判断するための目安であり、低周波音についての対策目標値、環境アセスメントの環境保全目標値や作業環境のガイドラインとして策定されたものではない。

注2： 心身に係る苦情に関する参照値には、100Hzの値は示されていない。

注3： 1/3オクターブバンド中心周波数とは、感覚量評価の際に用いられることが多いオクターブ分析（定比幅分析）のうち、1/3オクターブ分析における個々の周波数帯の中心の周波数である。